

令和元年 8 月 29 日開催

令和元年度第 1 回上越市博物館協議会資料 (歴史博物館)

- (1) 開館 1 年間の事業結果について 1～7 頁
- (2) 令和 2 年度の事業計画について 8～9 頁

上越市立歴史博物館 開館1年間の事業結果

(平成30年7月21日～令和元年7月20日)

1 展覧会事業

<平成30年度>

展覧会名	会期	内容	入館者数
開館記念企画展 「徳川四天王 一榊原康政の遺宝」	7月21日(土) ～9月17日(月・ 祝) ※蓮まつり期 間中は無休 (57日間)	江戸時代後半130年にわたって高田藩主を勤めた大名榊原家の藩祖は、徳川四天王として知られる榊原康政である。市内に伝来する貴重な戦国武将の遺品を紹介することで、歴史博物館の開館に花を添えた。	目標：15,000人 入館者数： 17,185人 満足度：96.6% (内訳：満足51.7%、 やや満足44.8%)
企画展Ⅰ 生誕150年記念企画展 「川上善兵衛」	10月6日(土) ～12月2日(日) (50日間)	川上善兵衛は明治元年生まれ。日本の風土にあったブドウ品種の作出に生涯を捧げ、そのブドウを使ったワイン醸造を地域の産業へと発展させた。善兵衛のブドウは日本中のワイン用ブドウ産地で栽培されている。川上善兵衛の人生とその業績を紹介した。	目標：7,000人 入館者数： 9,850人 満足度：100% (内訳：満足60%、 やや満足40%)
戊辰戦争150年特別展 「高田藩と戊辰戦争」	平成31年 1月4日(土) ～3月24日 (日) (68日間)	江戸幕府の譜代大名である高田藩榊原家は、日本を二分した戊辰戦争にあたってその最前線に立たされることになった。大きな時代の変わり目に立ち、時勢に翻弄されながらも懸命に乗り越えようとする高田藩と地域の軌跡を、時系列を追いながら丁寧に紹介した。	目標：5,000人 入館者数： 8,617人 満足度：100% (内訳：満足67%、 やや満足33%)
企画展Ⅱ 「探検！ むかしの くらし」	<p>かつて私たちの生活に欠かすことのできなかった様々な道具を紹介し、人びとの知恵や工夫を学び、現在のくらしとの違いにも目を向ける場を提供した。</p> <p>※小学3年生の社会科学習に対応した内容</p>		
<p>・入館者年間目標30,000人に対し、総入館者数41,134人(うち有料観覧者11,186人、企画展開催期間中入館者数：35,652人、常設展示のみの期間中入館者数：5,482人)</p> <p>・満足度目標80%以上に対し、満足度98.6%</p> <p>※満足度は「満足」「やや満足」「やや不満足」「不満足」の項目から「満足」「やや満足」と回答した人の割合)</p>			

<令和元年度（平成31年度）>

展覧会名	会期	内容	入館者数
逸品展示 「御所参内・聚楽第行幸図屏風」 「榊原家寄贈資料展示」	4月1日（月） ～6月30日（日） ※観桜会・GW 期間中は無休 （82日間）	「御所参内・聚楽第行幸図屏風」は、天正16年（1588）に豊臣秀吉が後陽成天皇を聚楽第に迎える様子を描いた六曲一双屏風。この屏風を3年ぶりに公開した。 また、平成29年度に榊原家から寄贈された榊原喜佐子氏（徳川慶喜の孫）ゆかりの品を紹介した。	目標：12,000人 入館者数： 43,839人 満足度：100% （内訳：満足70%、やや満足30%）

<開館以来の入館数について>

		平成30年度 (7/21～3/31)		令和元年度 (4/1～7/20)		開館以来通算	
展示室 観覧者数	うち有料	11,186	16,102	5,464	6,501	16,650	22,603
	うち無料	4,916		1,037		5,953	
無料ゾーン利用者数 (ラウンジ・喫茶・屋上)		25,032		40,354		65,386	
総入館者数		41,134		46,855		87,989	

- ・ 蓮まつり期間中（H30/7/21～8/19）の利用者数： 11,738人（1日平均391人）
- ・ 観桜会期間中（H31/4/1～4/15）の利用者数： 29,006人（1日平均1,934人）
- ・ GW10連休期間中（H31/4/27～R1/5/6）の利用者数： 4,815人（1日平均482人）

2 教育普及事業

(1) 講演会等の実施

<平成30年度>

催事名	内容
戊辰戦争150年特別展 「高田藩と戊辰戦争」 金谷山史跡巡り	内容：荒川主任の案内で高田藩士墓地、薩摩・長州藩墓地、会津墓地、高田事件記念碑、日本スキー発祥記念館などの戊辰戦争に関する史跡を巡る。 日時：10月20日（土）10:00～12:00 参加者数：16人（定員15人）
戊辰戦争150年特別展 「高田藩と戊辰戦争」 記念講演会	演題：「戊辰内乱とそれぞれの選択」 講師：宮間純一氏（中央大学文学部准教授） 日時：11月3日（土）14:00～15:00 会場：オーレンプラザ研修室・会議室 参加者数：66人（定員60人）

(2) 展示解説会の実施

<平成30年度> (7/21~3/31)

展覧会名	内 容
戊辰戦争150年特別展 「高田藩と戊辰戦争」	日時：10月13日(土)、11月17日(土) 10:00~11:00 参加者数：延べ68人
企画展Ⅱ「探検！むかしのくらし」	※小学校授業対応として会期中に実施 見学児童数：45校1,637人(市内41校1,529人)
常設展示「越後の都」	※予約による団体解説を随時実施 参加者数：44件 1,307人

<令和元年度> (4/1~7/20)

展覧会名	内 容
開館1周年記念企画展 「上越の寺社と徳川の城・高田」	日時：7月20日(土) 10:00~11:00 参加者数：46人(7/20分)
常設展示「越後の都」	※予約による団体解説を随時実施 参加者数：31件 945人

(3) 刊行物の発行

<平成30年度>

刊行物名	内 容
『生誕150年記念企画展 川上善兵衛』 パンフレット	企画展の開催に合わせ、展示資料を中心に川上善兵衛の業績をまとめたパンフレットを作成。 (規格：A4判・24ページ、印刷部数：1,000部)
『戊辰戦争150年特別展 高田藩と戊辰戦争』 展覧会図録	特別展図録として作成。 (規格：A4判・56ページ、印刷部数：1,000部)
『探検！むかしのくらし』探検ブック	3年生の学習に合わせたワークシート「探検ブック」を作成。子どもたちに無償配布した。 (規格：A2判、印刷部数：2,000部)

<令和元年度>

刊行物名	内 容
『開館1周年記念企画展 上越の寺社と徳川の城・高田』 パンフレット	企画展図録として作成。 (規格：A4判・24ページ、印刷部数：1,000部)

(4) 博物館実習生の受入れ

<平成30年度>

改修工事及びオープン事業のため実施せず

<令和元年度>

実習期間	実習生の所属大学	内 容
8月6日(火) ～8月10日(土) [5日間30時間]	新潟産業大学経済学部 ※申込者1名	講義:「資料の保存と管理」「展示論」など 実習:「資料の取扱い」「資料の整理」「資料台帳作成について」など ※受講条件は、上越市出身あるいは市内の大学に通う博物館学芸員を志望する学生

(5) 中学生職場体験の受入れ

<平成30年度>

期間	学校名・学年・人数	内 容
8月6日(月) ～8月10日(金)	雄志中学校2年生 2人	チケット販売、館内案内・誘導、展示解説、館内清掃など
8月21日(火) ～8月22日(水)	春日中学校2年生 3人	チケット販売、館内案内・誘導、館内清掃など ※埋蔵文化財センターとの共同受入れ。8/20、23、24日は埋蔵文化財センターで実習対応。

(6) 出前講座・職員派遣等

<平成30年度>

講座名	内 容
【職員派遣】 新潟県生涯学習協会 企画講座 「維新150年―幕末・維新期の越後国諸藩の選択」	期日:5月15日(火) 演題:高田藩と戊辰戦争 会場:新潟国際大学新潟中央キャンパス 参加者:約60人
【職員派遣】 上越ケーブルビジョン公開講座 「戊辰戦争から150年」	期日:8月22日(水) 演題:高田藩と戊辰戦争 会場:JCV本社スタジオ 参加者:約50人
【出前講座】 西城二丁目町内会敬老会	期日:9月17日(月・祝) 演題:越後の都と徳川の城下町、そして西城二丁目の界限 会場:特別養護老人ホーム さくら聖母の園 参加者:約20名
【出前講座】 八千浦地区公民館 元気の出るふるさと講座	期日:9月20日(木) 内容:岡沢拠点収蔵施設見学 会場:岡沢拠点収蔵施設 参加者:約20人

<平成 30 年度>

講座名	内 容
【出前講座】 高田地区公民館講座	期日：9月26日（水）、10月9日（火） 演題：I 高田築城、下級武士の生活 会場：オーレンプラザ会議室 参加者：約30人
【出前講座】 上越市南地区町内会長連絡協議会 研修会	期日：10月12日（金） 演題：歴史博物館の開館について 会場：オーレンプラザ ホール 参加者：約100人
【職員派遣】 旧高田藩和親会 郷土史フォーラム	期日：10月28日（日） テーマ：江戸時代 頸城野の農民の暮らし 会場：高陽荘 報告者：清沢聰氏、パネリスト：花岡公貴 荒川将 参加者数：約100人
【職員派遣】 新潟大学非常勤講師	期日：10月31日（水）、11月7日（水）、11月14日（水） 演題：近世越後諸地域の歴史と社会 会場：新潟大学 参加者数：約100人
【職員派遣】 郷土の偉人“前島密翁”を顕彰する 会『前島密 故郷との絆講演会』	期日：12月1日（土） 演題：静岡時代の前島密 会場：上越市市民プラザ 参加者数：73人
【出前講座】 郷土史友の会おおがた 歴史講演会	期日：2月3日（日） 演題：江戸時代後期才浜の漁業と北前船 会場：大潟区コミュニティープラザ 参加者数：約80人
【職員派遣】 新潟市歴史博物館 館長講座 「戊辰戦争と越後」	期日：3月17日（日） 演題：高田藩と戊辰戦争 会場：新潟市歴史博物館 参加者数：約80人

<令和元年度>

講座名	内 容
【職員派遣】 新潟日報社主催 「未来のチカラ in 上越」企画講座	期日：5月9日（木） 演題：城下町高田と小町問屋 会場：旧今井染物屋 参加者数：約15人

講座名	内 容
【出前講座】 五智歴史の里会館 文化講演会	期日：5月25日（土） 演題：高田藩と戊辰戦争 会場：五智歴史の里会館 参加者数：70人
【出前講座】 上越プロバスクラブ 講話	期日：6月12日（水） 演題：下級武士の生活 会場：市民プラザ 多目的室 参加者数：15人

（7）人権・同和問題研修の実施

＜平成30年度＞

研修対象者	内 容
館職員研修（歴博・古径記念美術館・受付・カフェスタッフ）	期日：7月9日（月）、7月10日（火） 参加者数：29人
【学校教育課主催】 小中学校及び教育委員会職員対象研修会 （学校管理職、人権教育担当教諭、市教育委員会職員、上越教育事務所職員）	期日：7月6日（金）、7月9日（月）、7月12日（木）、 8月20日（月）、8月21日（火）、8月22日（水） 参加者数：延べ156人
【学校教育課主催】 上越地区公立高等学校校長	期日：8月10日（金） 参加者数：9人
【社会教育課主催】 公民館主事研修会	期日：8月6日（月） 参加者数：28人
【外部依頼による研修会】 （新潟市内の市民団体）	期日：11月8日（木） 参加者数：18人

3 調査研究事業

（1）各区所蔵民俗資料調査・民俗資料拠点収蔵施設整備事業

＜平成30年度＞

- ・三和区・大島区資料を岡沢拠点収蔵施設へ移動、クリーニング、状態確認、台帳突合、配架作業を行った。これにより、計画した各区からの資料移動作業は終了した。
- ・資料の利活用を図るためにデータベース入力作業を実施。

＜令和元年度＞

- ・引き続き三和区民俗資料のクリーニング、配架作業を行う。
- ・平成27年度以降新規受入れ資料の台帳整備を行う。
- ・岡沢拠点収蔵施設への集密化を実施、黒岩拠点収蔵施設との統合について検討を進める。

(2) 歴史・民俗資料収集

<平成30年度>

- ・購入数 10件 85点 (歴史資料3件 77点、参考図書等7件 8冊)
- ・寄贈数 51件 505点 (歴史資料11件 114点、民俗資料40件 391点)

<令和元年度>

- ・購入数 2件 2点 (参考図書等2件 2冊)
- ・寄贈数 15件 71点 (民俗資料15件 71点)

(3) 調査研究事業

<平成30年度>

- ・平成30年度特別展開催のための諸調査 (国文学研究資料館、国立公文書館など)
- ・市内調査 (愛宕神社、春日神社、戦時下の戦闘機献納にかかる記念プロペラに関する調査、総督宮参謀高札 (個人蔵)、頸城区希望館資料、公文書センター資料、高田図書館資料)

<令和元年度>

- ・市内調査 (榊原家史料、戦時下の戦闘機献納にかかる記念プロペラに関する調査など)
- ・日本スキー発祥記念館の移管に伴う、スキー資料等に関する調査
- ・高田図書館資料の移管に伴う調査
- ・令和3年度特別展にかかる予備調査

令和元年 8 月 29 日開催

令和元年度第 1 回上越市博物館協議会資料 (水族博物館)

- (1) 開館 1 年間の事業結果について 1～5 頁
- (2) 令和 2 年度の事業計画について 6～9 頁

上越市立水族博物館 開館1年間の事業結果

(平成30年6月26日～令和元年6月25日)

1 事業実施状況について

(1) 特別展・企画展の実施について

<平成30年度>

事業内容	期 間	内 容
クリスマス企画展	12/14(金)～ 12/25(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・「海の宝石」とも呼ばれるウミウシの仲間の展示、名前や形態などクリスマスにちなんだ生物の展示を実施した。 ・展示水槽：2本 ・展示生物：アオウミウシなどウミウシ類5種、クリスマスアンティラス、シロホシアカモエビ
年末年始企画展	12/28(金)～ 1/31(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の干支であるイノシシにちなんだ生物の展示、サケの受精卵を「イクラ丼」に見立てた展示を実施した。 ・展示水槽：3基 ・展示生物：イラ、キュウセン、シマイサキ(幼魚)、サケ(受精卵)
特別展「おとがたり」 ～生きものたちが紡ぐ音～	2/16(土)～ 4/7(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・水生生物が発する音に着目し、様々な生物が発する音とその理由や仕組みを生体・標本を用いて展示解説した。 ・音源に係る資料については、国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所 赤松友成博士の協力を得た。 ・展示水槽：7基 ・展示生物：ハウボウ・カクレクマノミなど10種 ・その他：耳石標本、モニター展示など

<令和元年度(平成31年度)>

事業内容	期 間	内 容
特別展「うみのごみ」 ～生きものたちの、目に映るもの～	6/15(土)～ 7/31(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・近年話題となっているマイクロプラスチックをはじめとする海洋ごみに着目し、環境保全啓発のための展示を実施。 ・展示資料作成に当たっては、東京農工大学農学部環境資源科学科高田秀重教授の協力を得た。 ・展示水槽：5基 ・展示生物：メバル・イソスジエビ・カクレクマノミ

		など 32 種 ・その他：標本展示、写真パネル
--	--	----------------------------

(2) その他活動について

<平成 30 年度>

事業内容	期 間	内 容
リュウグウノツカイの展示	2/6(水)～ 2/13(水)	タッチプール・フィーディングプール周辺において、市内虫生岩戸の海岸に漂着したリュウグウノツカイ（体長約 5m）を展示した。
観桜会コラボ「桜水槽」	3/21(木)～ 4/15(月)	入館者に「高田城 100 万人観桜会」を紹介するため、3 階ロビーに特設水槽を設置し、観桜会をイメージした水槽の雰囲気に合わせて、小型のニシキゴイを展示した。
情報紙「うみがたり」の発行	1 月～継続 中	旧水族博物館時代に発行していた「すいはく新聞」に代わり、館内情報を紹介する情報誌「うみがたり」の発行を開始した。以降、月 1 回程度の頻度で発行を継続している。

<令和元年度（平成 31 年度）>

事業内容	期 間	内 容
観桜会会場への出展	4/6（土）、 7（日）、 13（土）、 14(日)	・観桜会に来場された方に水族博物館を認知してもらい、施設に足を運んでいただくため、会場内(高田図書館前)に特設ブースを設置し活魚輸送車による出張展示を実施した。 ・展示生物：サクラダイ ※入館促進と動向把握のため、当日は入館料の割引券付チラシも配布した。
腹部が白いマナマコの展示	5/27(月)～ 継続中	漁業関係者から体表の下半分が白変したマナマコの寄贈を受け、館内で展示を開始した。

(3) 開館以来の入館者数について

区 分		平成 30 年度 (6/26～3/31)	令和元年度 (4/1～6/25)	開館以来通算
入館者数	有料入館者(人)	722,061	166,233	888,294
	無料入館者(人)	10,698	610	11,308
合 計		732,759	166,843	899,602

- ・お盆期間中(H30/8/11～8/16)の入館者数：66,702人
- ・年末年始(H30/12/29～H31/1/4)の入館者数：12,100人
- ・GW10連休期間中(H31/4/27～R1/5/6)の入館者数：69,288人

2 教育普及事業について

(1) 社会教育プログラム

平成 31 年 1 月 1 日から、飼育スタッフの案内により、入館者が施設の裏側を見学する「バックヤードツアー」を開始した。

<平成 30 年度>

区 分	1 月	2 月	3 月	合 計
実施回数	53	56	62	171
参加者数 (人)	410	467	573	1,450

<令和元年度 (平成 31 年度) >

区 分	4 月	5 月	6 月	合 計
実施回数	51	50	50	161
参加者数 (人)	381	429	450	1,260

(2) 学校団体向けプログラム

5 月 13 日から学校団体向けの各種教育プログラムの受入れを開始した。実施に当たっては、3 月から近隣市町村、長野県の小中学校に案内チラシの配布を行うとともに、上越市校長会、理科教育センター講習会等で P R を行い、周知を図った。

ア バックヤードツアー

学芸員又は飼育担当職員が水族博物館のバックヤードを案内しながら、教育的配慮のもとに飼育・展示施設や設備について解説を行い、水生生物に対する更なる理解を促すことにより、理科教育や生物教育の充実に資する。

実施日	対 象	参加人数 (人)
6 月 21 日	上越市立牧中学校 2 年生	16

イ 館内ガイドツアー

学芸員又は飼育担当職員が教育的配慮のもとに実物資料である展示生物の生理や生態などについて解説を行い、水生生物に対する更なる理解を促すことにより、理科教育や生物教育の充実に資する。

実施日	対 象	参加人数 (人)
6 月 21 日	上越市立清里小学校 1・2 年生	29

ウ レクチャー

イルカスタジアムにおいて水族館や水生生物に関する事項をテーマとした講義を行い、水生生物や自然環境への理解を促すことにより、理科教育や生物教育の充実に資する。

実施日	対 象	参加人数 (人)
5 月 14 日	小諸市立芦原中学校 2 年生	140

6月20日	上越市立直江津南小学校5年生	108
合計		248

エ 出張授業

学芸員や飼育担当職員が学校に出向き、標本や映像資料、活魚輸送車で運んだ生体資料などを教材とした、水族博物館ならではの授業を行うほか、キャリア教育等にも対応する。

<平成30年度>

実施日	対 象	参加人数 (人)
12月5日	上越市立明治小学校6年生	13
2月24日	上越地区及び他地区の教員(小・中・高・大) 上越地区の教育行政関係者(教育委員会等) 上教大の学生、院生	50
3月13日	上越市立大潟町中学校1年生	40
合計		103

<令和元年度(平成31年度)>

実施日	対 象	参加人数 (人)
5月30日	上越市立八千浦中学校2年生	25

3 情報発信について

施設の認知度向上やブランド化を図り、入館促進に繋げるため、開館直前から継続的に情報発信を行ってきた。

<平成30年度>

単位：件

区分	TV	新聞	ラジオ	WEB	雑誌他	合計	内容
6月	36	22	11	163	16	248	新規開館情報
7月	8	0	0	22	11	41	新規開館情報、入館者数10万人達成
8月	0	0	0	12	3	15	新規開館情報
9月	0	0	0	10	4	14	新規開館情報
10月	2	24	3	55	5	89	入館者数50万人達成
11月	4	10	7	1	7	29	水中ドルフィンパフォーマンス
12月	5	16	1	2	6	30	クリスマス企画展
1月	2	2	3	7	7	21	年末年始企画・バックヤードツアー
2月	7	15	6	27	5	60	特別展
3月	4	23	7	19	3	56	お出かけ情報
合計	68	112	38	318	67	603	

<令和元年度(平成31年度)>

単位：件

区分	TV	新聞	ラジオ	WEB	雑誌他	合計	内容
4月	3	14	4	45	3	69	ペンギン雛

5月	6	9	8	26	6	55	ペンギン雛・白いナマコ
6月	6	24	3	18	3	54	特別展・開館1周年
合計	15	47	15	89	12	178	

4 入館者動向について

平成30年7月から実施している入館者アンケートの集計結果から、入館者の動向は以下のとおりであった。

(1) 男女別

単位：％

年度	男性	女性	合計
H30	40.3	59.7	100.0
R1	40.5	59.5	100.0

(2) 年齢層別

単位：％

年度	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
H30	12.8	23.2	14.2	13.8	13.2	7.8	8.5	5.3	1.2	100.0
R1	11.9	23.4	14.8	13.9	15.8	7.5	8.6	2.5	1.6	100.0

(3) 形態別

単位：％

年度	家族	友人	カップル	1人	その他	合計
H30	67.4	14.0	13.2	5.4	0.0	100.0
R1	69.1	11.5	9.7	7.6	2.1	100.0

(4) 交通手段別

単位：％

年度	自動車	バス	電車	自転車・徒歩	合計
H30	84.8	7.0	4.6	3.6	100.0
R1	86.8	4.6	4.7	3.9	100.0

(5) 居住地別

単位：％

年度	上越	県内	長野	富山	その他	合計
H30	26.0	28.7	24.1	5.4	15.8	100.0
R1	24.1	31.3	22.8	5.4	16.4	100.0